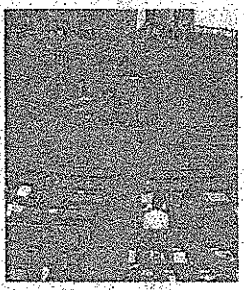
国民の歩み止められない

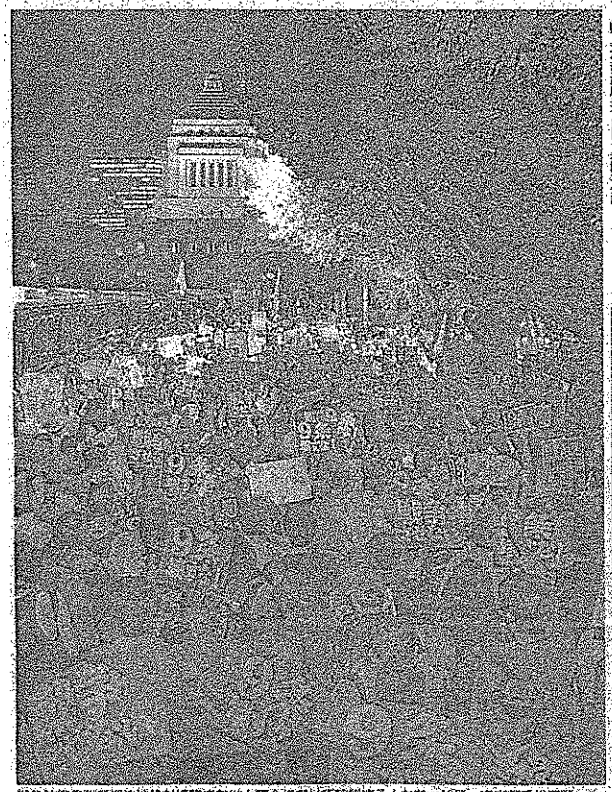
戦争法案強行に最後まで対決

参院 未明まで攻防

参院本会議に緊急上程された戦後最悪の違憲立法・戦争法案をめぐる与野党の攻防は18日も激しく繰り広げられました。与党は、同日深夜の採決、成立を狙っており、戦争法案の行方は19日未明までもつれこむ見込みです。日本共産党をはじめ民主、維新、生活、社民の各党は、安倍内閣不信任決議案を共同提出するなど戦争法案の阻止のために結束して対決。国会周辺は、戦争法案に反対する数万人の市民が取り囲み、「戦争法案を絶対通さない」「安倍内閣いますぐ退陣」と抗議の声をあげ続けました。日本共産党の志位和夫委員長は「この国民の歩みを止めることはできない」と強調しました。 ◆関連6面



安倍首相の戦争法案の強行採決に立つ山下芳生書記局長＝18日、参院本会議



戦争法案の強行採決は絶対に許さないと国会にむけて抗議する人たち＝18日、東京都千代田区

共産、民主、維新、社民、生活の野党5党は18日午後、戦争法案の成立を断固阻止するために、安倍内閣不信任決議案を大急ぎで提出しました。安倍内閣の退陣を求める野党共闘の要求を突きつけました。

日本共産党の志位和夫委員長は、安倍政権が戦争法案をゴリ押しすることで、「平和主義破壊、立憲主義破壊、民主主義否定」の三つの大罪を犯すとして、内閣不信任決議案の提出を呼びかけました。

共産、民主、維新、社民、生活の野党5党は18日午後、戦争法案を強引に押し通すことは立憲主義の破壊、国民主権の否定であり、許されない暴挙だとして、